

『犬に本を読んであげたことある?』

今西乃子/文 講談社 2006

アメリカの図書館で始められたセラピー犬による子ども向け読書活動の記録。読書が苦手でも読み間違えても犬は聞いてくれるし、触るとふかふかしてかわいい♪子どもたちの成長に驚かされる!



『犬は勘定に入れません』

コニー・ウィリス/著 早川書房 2004

レイディ・シュラブネルの命令で、主教の鳥株なるものをさがしてタイムトラベルを重ねすぎたネッドは疲労困ぱい。レイディ・シュラブネルから逃れるためヴィクトリア朝に派遣されるが、時代差ぼけでどんな任務をまかされたのかも分からない。ヴィクトリア朝ユーモア小説として名高い、ジェローム・K・ジェロームの『ボートの三人男』の副題をそのままタイトルにした本書は、SFとミステリーを融合させたドタバタユーモア小説。



『ものしり五郎丸』

にしむらかえ/作・絵 文溪堂 2010

ものしりな博士に飼われている子犬の五郎丸は、自分は「なんだってしてる」と自信满满。だって博士のまねをしてたくさん本を読んでいるんですから。ところが実際外の世界に出てみると、わからないことや知らないことがたくさん。「あめって、つめたいんだなあ」。びしょぬれで不安になった五郎丸は泣きそうになりますが…。えぼって嫌なやつだった五郎丸が、ちょっぴり成長するおはなし。

『いぬがかいた〜い!』

ポブ・グラハム/さく
評論社 2006

犬が飼いたいケイトは、パパ、ママと犬救済センターで元気なデιβをもらってきますが、気になるわんこちゃんがほかにもいたのです。犬を飼うことの意味が、絵本を通して伝わってきます。

『フランダースの犬』 ウィーダ/作

言わずと知れた名作。アニメ版になじみのある方が多いと思いますが、原作もおすすめです。ネロを大事に思うパトラッシュの気持ちが情緒豊かに表現され、ラストシーンは犬好きならずとも涙せずにはいられません。ちなみにこの作品が日本で初めて紹介されたのは1908(明治41)年のこと。ネロは「清(きよし)」、パトラッシュは「班(ぶち)」と和名で訳されており(!)、他の訳本とはまた異なる味わいになっています。国立国会図書館ホームページにある「近代デジタルライブラリー」での閲覧が可能ですので、興味のある方はぜひ。



『ウォッチャーズ』ディーン・R. クーンツ／著
文芸春秋 1993

孤独な中年男トラヴィスは、森の中で、卓越した知性を持つ不思議な犬「アインシュタイン」と出会う。アインシュタインのおかげでトラヴィスは過去の傷と向き合い、克服し、運命の女性と出会うことができた。生きることの喜びをかみしめるトラヴィスだったが、一方で、アインシュタインを追う「何か」が、刻一刻と近づきつつあった……犬と人生の素晴らしさを教えてくれる本。

『わたしの病院、犬がくるの』
大塚敦子／写真・文
岩崎書店 2009

聖路加国際病院の小児病棟におけるセラピー犬の訪問活動が始まったのは2003年。病院から出ることができず、病気と闘う子ども達と、犬と触れ合うことでうまれる笑顔の子ども達、どちらも本当の子ども達の様子がよく伝わってくる写真絵本。



『高安犬物語』戸川幸夫／著
金の星社 1982

戸川幸夫の自伝的動物小説。山形県でマタギ犬として改良されてきた「高安犬」。その犬張子のような姿と高い能力に魅せられた主人公の眼を通して、絶滅していく犬種への愛惜が描かれます。第32回直木賞受賞作。

『岳物語』
椎名誠／著 集英社

息子の岳と犬のガク、一人と一匹の交流と成長を暖かい目で見守る著者の初の私小説。自然との共存も描いた男の子向け冒険小説？

『バスカヴィル家の犬』アーサー・コナン・ドイル／著

サー・チャールズ・バスカヴィルが急死した。バスカヴィル家に代々祟るといふ魔犬の仕業なのか。後を継いだサー・ヘンリーの周りでも不思議な事件が相次ぐ。ホームズによってムアに送り込まれたワトスンが調査を開始する。何度も映像化された有名な長編。

『ベルナのしっぽ』
郡司ななえ／[著]
角川書店 2002

27歳で病気のため失明した郡司さんは結婚後、子どもを育てたいと思った。子育てには盲導犬の助けが必要だと考え、犬嫌いを克服して盲導犬とパートナーを組む。盲導犬への理解が十分でない時代にベルナと共に歩む郡司さんの姿に考えさせられる。ベルナの最期まで寄り添う著者の様子に涙。

『ばっちゃんー助けられた繁殖犬たち』

井上夕香/文 小学館 2000

1998年、愛知県の「動物保護管理センター」に94匹の弱った犬が運ばれてきた。ペットショップで売る犬の赤ちゃんを産ませる施設「繁殖場」から保護された犬たちだ。犬たちの手当てをし、新しい飼い主を見つけ、その後の犬たちの様子までを追った本。児童向けの本だが、リアルな写真と文章で表現されている1冊。